

「私は野菜が苦手でしたが、農業体験で生の空心菜を食べさせてもらって、そのおいしさに感動しました。島の野菜は甘くてみずみずしいものばかりで、すっかり野菜が好きになって帰ってきました」 (Sさん)

「私は生まれて初めての海だったのですが、インストラクターが常に近くにくれたので、SUPやシュノーケリングも安心して体験することができました」 (Kさん)

南の島の冒険ではほかに大きな変化があったと2人は声を揃えます。「虫が苦手だったのですが、思いきって触ってみたら『なんだか可愛い』と感じて、虫に興味を持った自分に驚きました」 (Kさん)

「島の人はみんなフレンドリーで、人見知りの私でも初めて会った人と楽しくお話ができました。普段の自分からは考えられないことで、自分でもビックリしました」 (Kさん)

「普段は経験できないことに全員で挑戦することは、生徒たちの大きな成長につながります。奄美大島は、そうした『挑戦』と『成長』のきっかけとなるのにふさわしい場所だと思います」 (芝辻先生)

これまでは高1の5月に、福島県のプリティッシュュヒルスで語学研修を行っていた同校ですが、今年から行き先を奄美大島に変更しました。

「本校では高校課程の始まりにあたり、これまでは語学研修を実施してきましたが、学内の英語教育がレベルアップしたこともあり、『力を合わせて新しいことを成し遂げる』経験を積むために、本年度から奄美大島での研修旅行へと変更しました」

そう話すのは、高1の学年主任を務める芝辻憲子先生です。

高2で行く修学旅行の目的地はハワイなのですが、コロナ禍は海外渡航が難しくなったため、中2の冒険旅行で縁のあった奄美大島を選択。ところがそんなイレギュラーな修学旅行で、生徒たちに驚くほどの変化が見られたと言います。

「奄美大島の自然に触れることで生徒たちの五感が解放され、いろいろなことに前向きに挑戦する意欲が目覚めたようなのです。修学旅行後もイキイキとしている生徒たちを見て、『これほど良い影響を与えるなら高校生活の最初に経験してもらいたい』と考え、研修旅行先を奄美大島に変更しました」 (芝辻先生)

実際に今年の研修旅行で奄美大島を訪れた高1生たちは、着いた瞬間から目の輝きが違ったと芝辻先生は話します。旅行中は農業体験やSUP (スタ



「引っ込み思案なままではもったいないと思う体験ばかり。後輩にも全力で挑戦してほしいです」 (Kさん)

「いろいろな挑戦や発見ばかりの毎日で、あっという間の4泊5日でした」 (Sさん)

左からKさん、学年主任の芝辻憲子先生、Sさん



“挑戦”が“成長”につながる 世界自然遺産 奄美大島研修旅行



瀧野川女子学園

[東京都北区・女子校]

創造性と起業家精神を育む教育の一環として、高1で行われている研修旅行。同校はそんな研修旅行の行き先を、今年から奄美大島に変更しました。研修旅行を体験した高1生と引率を担当した先生に、その魅力について聞きました。



世界自然遺産の命を育む豊かな水と命の循環を島の長老たちからうかがいました。